

授業科目名		担当講師名	対象学年		
小児看護学実習		福 桂	2 年～3 年次		
授業形態	単位 (時間)	実習場所	学期	曜日	時限
実習	2 (90)	県立大島病院 小児科病棟 外来 小宿保育園 春日保育園 のぞみ園	前期 後期	月～金	8 : 00 15 : 30
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である				
学修内容	小児各期の特徴を理解し、健康の保持・増進及び健康上の問題を持つ個々の小児とその家族に対して必要な看護が実践できる基礎的知識、技術、態度を学ぶ				
到達目標	1. 小児各期における身体的・精神的・社会的な発達の特徴を理解できる 2. 健康な小児、健康を害している小児の日常生活を理解し、成長発達への援助方法を理解できる 3. 小児の健康障害の特徴を把握し、対象に応じた看護過程の展開ができる 4. 健康障害や入院生活が小児と家族に及ぼす影響を理解できる 5. 小児を取り巻く医療、保健、福祉の連携の中で小児看護の役割を考察する				
事前学習	小児の代表的な疾患 患児家族の看護、乳幼児の成長発達、バイタルサイン測定 乳児の身体計測 プレパレーション 転倒転落のアセスメント 学習や遊び等				

授業計画

No.	授 業 内 容
1 日 (学内)	1. 学内実習施設オリエンテーション:実習施設、病棟の概要について バイタルサイン測定について (乳児期)、身体計測実施 (モデル人形使用) 2. 最終日は学内にてリフレクションおよび課題学習を行う
2 日間 小児科外来	1. 小児が受ける医療サービスの実際を学び、医療保健福祉の連携について学ぶ 2. 小児特有の診療の補助技術について学ぶ (安全安楽な技術)
4 日～5 日間 小児科病棟 NICU	1. 事前学習を提出する 2. 実習の進め方 1) 健康障害を持つ小児及び家族を理解し、家族を含めた看護援助について学ぶ 2) 患児を受け持ち必要な看護について、看護過程を展開し理解する 3) ケースカンファレンスを行い、看護援助について適切か検討する 4) ハイリスク新生児について学ぶ
保育所 (3 日間)	1. 健康な小児の成長・発達を理解し、望ましい保育について学ぶ
療育施設 (2 日間)	1. 障害児の成長・発達について理解を深め、保育者との関わりを学ぶ
履修上の要件	小児看護学概論、Ⅰ～Ⅲを修得していること
テキスト、教材、 参考書	領域別実習要項 系統看護学専門Ⅱ 小児看護学概論・臨床総論 医学書院 系統看護学専門Ⅱ 小児看護学臨床各論 医学書院
成績評価の方法	小児看護学実習 評価表に基づいて、出席状況、実習内容、実習記録、態度の総合評価
備考	新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性があります。